資料７

一般財団法人 Ambitious NIIGATA

野心的な新潟・大志をいだく新潟

産み・育み・学び・働く新潟創生へ

学びと交流の場「SANKAKU」

新潟市万代3-1-1
新潟日報メディアシップ６階

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

□協働・共創が求められるわけ

【海図なき航海】

20世紀後半の地球規模の情報技術革新を端緒に、社会経済・産業的環境の国際化、グローバリゼーションが進み、近年ではＡＩを始めとするＤＸやＧＸなどにともなう産業・経済の構造変化が間断なく続いている。

そんな中、雇用が多様化・流動化し、子どもたちは自分の将来に役立つ理想とする大人のモデルを見つけにくくなっており、希望あふれる未来の夢を描けなくなっている。

文科省によると、子どもたちの心身の発達にも影響が出始めており、

「人間関係をうまく築くことができない」

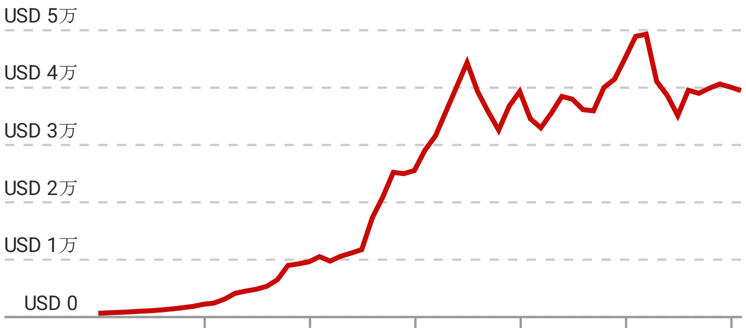
「自分で意思決定ができない」

「自己肯定感をもてない」

「将来に希望をもつことができない」

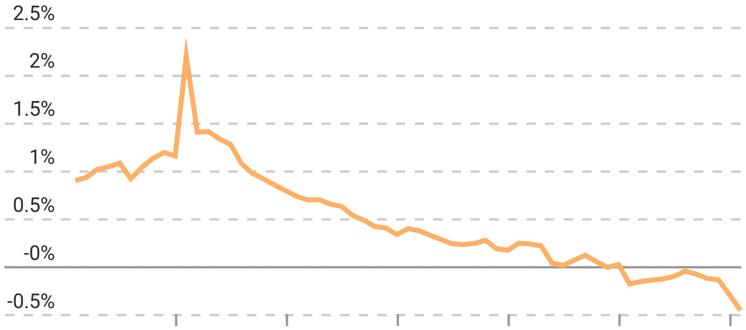
といった、子どもの増加が指摘されている。

日本 の 1 人あたりの国内総生産



情報提供元: datacatalog.worldbank.org（Data Commons 経由）

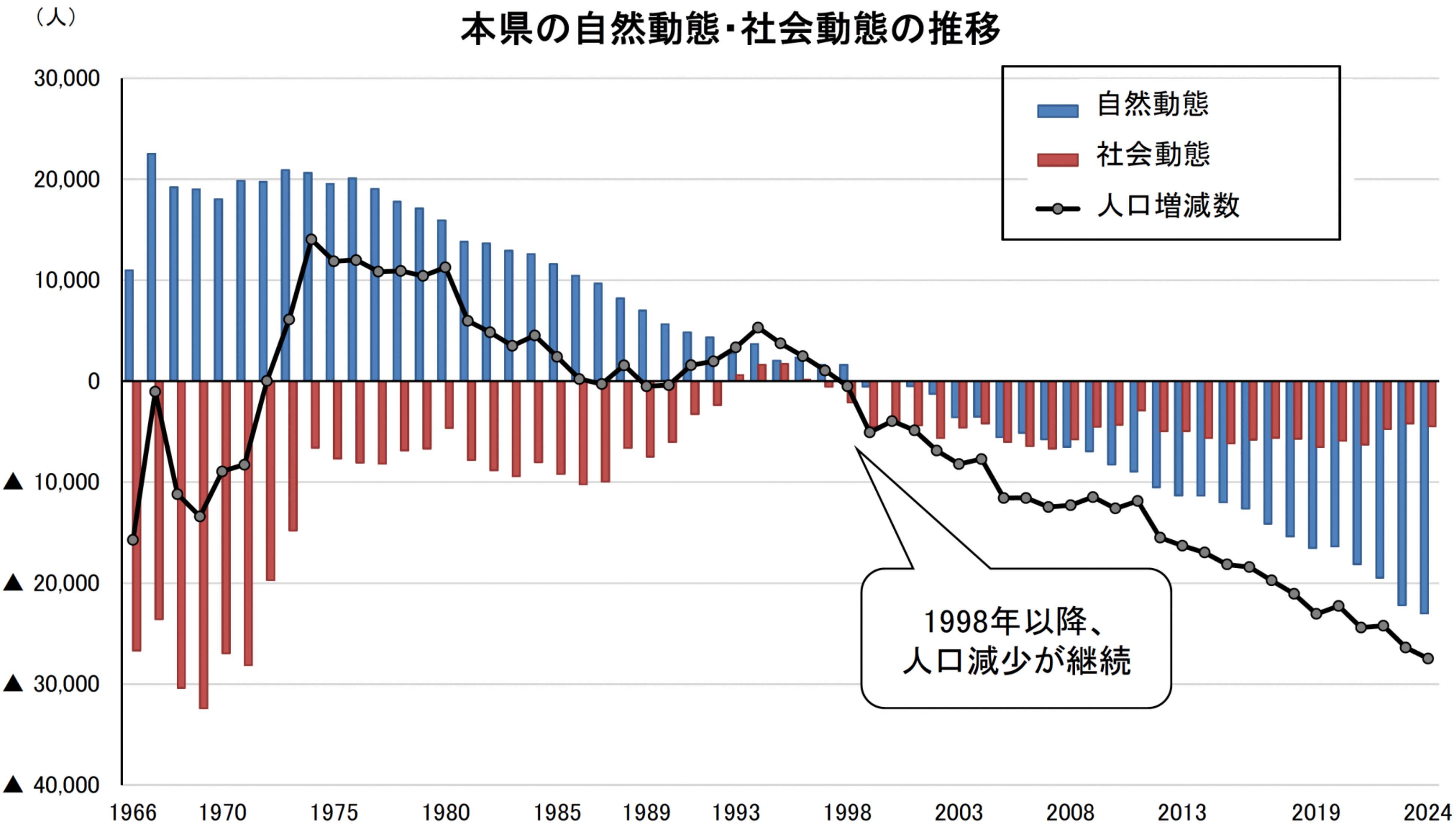
日本 の 人口増加率



情報提供元: datacatalog.worldbank.org（Data Commons 経由）

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

本県の自然動態・社会動態の推移

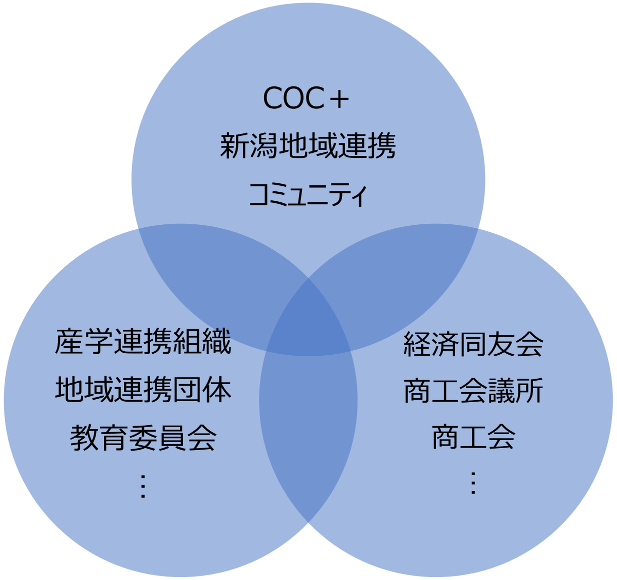


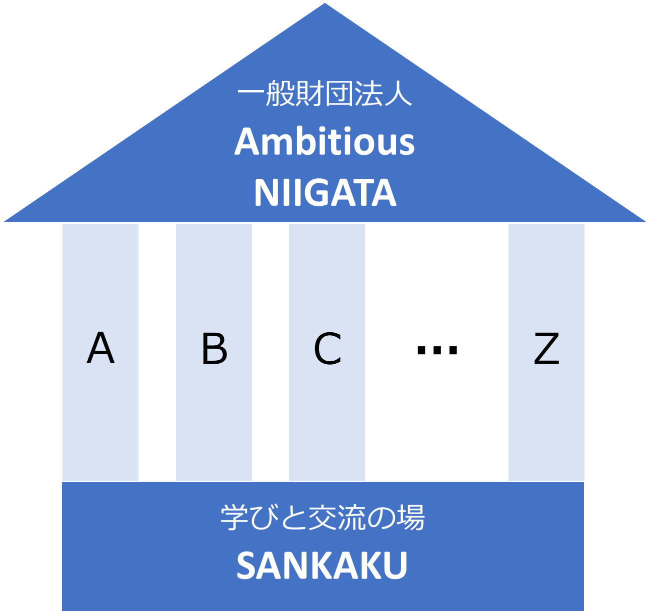
※新潟県人口減少問題対策推進県民会議　2025年7月4日資料

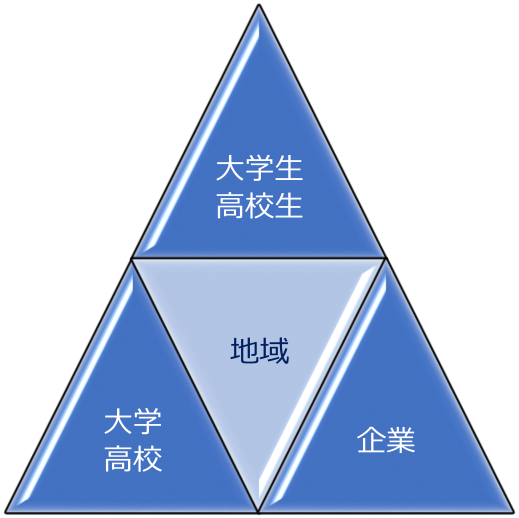
Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

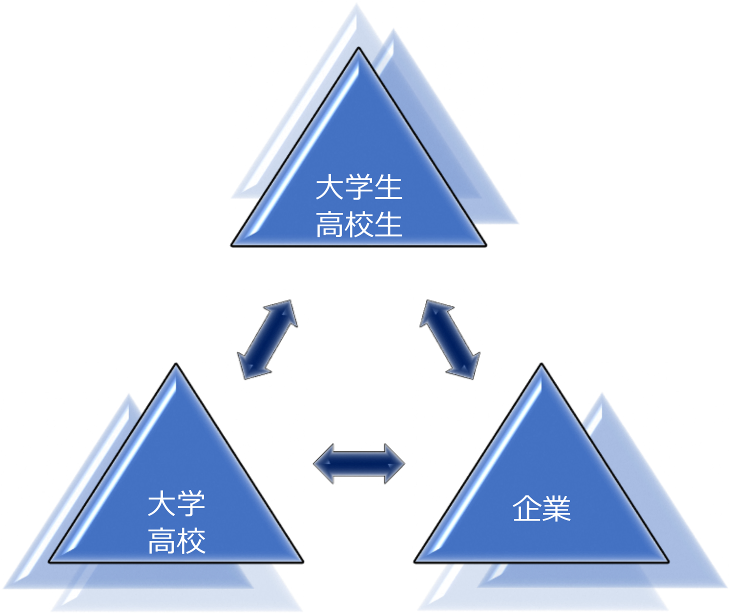
small society !?

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.









Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

7 特集 2025年(令和7年)9月25日(木曜日) (日刊) 新潟日報 第3種郵便物認可

オール新潟で若者支援

産学官交流拠点「SANKAKU」

メディアシップにオープン

県内の高校生や大学生、企業の社員らが集う産学官の地域協働・共創プラットフォーム「学びと交流の場SANKAKU（サンカク）」が、新潟市中央区の新潟日報メディアシップ6階にオープンした。人口減少が進む中、世代や立場を超えた交流を通じて県内で活躍する人材を育て、地域課題の解決や新たな事業を生み出す場となることを目指す。県内各地に既にある産学官の連携組織ともつながり、「オール新潟」で若者を支えていく。その新たな拠点と関係者の期待の声を紹介する。

学生と社会人 活性化の場に

SANKAKUのオープンイベントで語り合う学生ら＝新潟市中央区

新潟県では、全国平均を上回るペースで人口が減っている。進学、就職を機に県外に出てしまう若者も多い。若い世代にもっと地元に目を向け、県内で暮らしながら地域の活性化に力を注いでもらえたら—。SANKAKUは、産学官の関係者の思いを具体化させる場として設けられた。

交通至便な新潟市中心部の万代エリアにあり、ミーティングやセミナー、自習など思い思いに使えるオープンスペースを備える。高校生は誰でも、また運営する一般財団法人「Ambitious NIIGATA（アンビシャス・ニイガタ）」の会員である大学の学生、企業の社員らが無料で使える。

開かれた空間に世代や立場の異なる人々が集い、交流することで何が生まれるだろうか。若者は県内で暮らし、働く魅力に気付き、早い時期からライフデザインを描けるかもしれない。企業側には、意欲的な学生と接点を持ち、若者の視点を事業に反映させるといった可能性が開かれる。

18日の開業イベントではワークショップが行われ、県内13大学の学生でつくる団体「次世代BASE（ベース）」の学生らが参加。SANKAKUを活用したイベントや大学生と企業が一緒に取り組む企画案などについて話し合った。社会人も加わり、アドバイスを送った。

「オープンな雰囲気が心地よい。万代に来たついでに、社会人や高校生と堅くない感じで交流したい」。ベースのメンバーで新潟大3年の網代和花さん(22)は、笑顔で話した。

開業式では、来賓代表として花角英世知事が「SANKAKUは人や企業が育つ土壌になる。グローバルに活躍する人材が生まれるようになり、県経済や社会の活性化に貢献してもらいたい」と期待を寄せた。

また、アンビシャスの代表理事を務める新潟日報社の佐藤明社長は「若い皆さんにはSANKAKUで学んで成長し、新潟で活躍してほしい」と呼びかけた。

アンビシャスは新潟日報社が2024年11月、若者の地元での活躍や地域振興につなげようと設立した。青少年育成事業を手掛けるほか、今後はSANKAKUで県内の他の産学官連携組織や経済団体とのネットワークも強化していく。

連携強化 地域的広がり模索

若者の力を活性化に生かしたいのは県内の企業、教育機関、行政もそれぞれ一緒だ。関係者は、SANKAKUを土台にした産学官連携の強化に期待する。

運営する一般財団法人「Ambitious NIIGATA（アンビシャス・ニイガタ）」は、4月から「新潟地域連携コミュニティ」の事務局を務めている。コミュニティは2020年に発足し、就職・採用イベントなどを手掛けてきた組織で、事務局は新潟大から引き継いだ。

現在は県内の企業や経済団体、大学、自治体など約50の組織と連携。採用イベントなど従来の事業を展開しながら、連携の輪を広げていきたい考えだ。

新潟大で社会連携を担当する阿部和久副学長(65)は、目標とする若者の地元定着について「幅広い地域や団体、企業が一枚岩になって取り組めるかどうかが鍵になる」と指摘。「SANKAKUは会員が対等な立場で関わり合う場になり得る」と話す。

県内には他にも、長岡市内の4大学1高専と企業などが交流、協業する「ナデック構想」などの産学官連携がある。アンビシャスはそうした動きとも接点をつくっていく構えで、山田智イノベーションマネージャー(54)は「連携に地域的な広がりを持たせたい」とする。

地域によらず、企業も期待を寄せる。18日の開業イベントに参加した小千谷市の食品メーカー「たかの」の多田勇利常務(47)は「地方企業は若者に知ってもらう機会が限られる。積極的に交流していきたい」と語った。

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

的な学生と接 若者の視点を させるといっ 開かれる。 業イベントで ョップが行わ 大学の学生で 「次世代ＢＡ ス）」の学生 ＳＡＮＫＡＫ にイベントや 業が一緒に取 業などについ た。社会人も ドバイスを送

ンな雰囲気が 力代に来たつ 会人や高校生 感じで交流し ースのメンバ ３年の網代和 は、笑顔で話

は、来賓代 角英世知事 ＫＡＫＵは 育つ土壌にな バルに活躍 生まれるよ 県経済や社会 貢献しても と期待を寄せ

ンビシャスの 務める新潟日 明社長は「若 はＳＡＮＫＡ て成長し、新 てほしい」と

ャスは新潟日 ２４年11月、 この活躍や地 なげようと設 少年育成事業 ほか、今後は ＫＵで県内の 連携組織や経 ネットワーク いく。

ーベントで語

ンビシャスは 点をつくって イノベーショ は「連携に地 せたい」とす 業も期待を寄 ベントに参加 メーカー「た 務(47)は「地 てもらう機会 に交流してい

イベントや自習、会議など会員や高校生が自由に使えるＳＡＮＫＡＫＵ

催しに自習に…使い方自由

利用案内

ＳＡＮＫＡＫＵの施設は多用途の大小二つの区画「Ｐｏｒｔ（ポート）」と「Ｐｉｅｒ（ピア）」からなる。ポートは広く開放的な雰囲気で、ピアには個人席を用意。多人数での会議や催し、1人で集中したい時の自習など、さまざまな使い方ができる。

可動式の椅子や机、大型モニターや音響、スクリーンやフリーＷｉ－Ｆｉを備え、ポータブル電源も使うことができる。スタッフが常駐し、利用者が安心して活動できるようサポートする。

開館時間は平日の午前10時～午後8時（土曜は午後5時）。日曜と月曜、祝日などは休館。問い合わせはsankaku@ambitious‐niigata.jp

◇

運営する一般財団法人「Ａｍｂｉｔｉｏｕｓ ＮＩＩＧＡＴＡ（アンビシャス・ニイガタ）」は県内の企業、大学の会員を募っている。年会費は10万～３００万円で各種特典がつく。

舵輪がモチーフ 望む針路とって

ロゴマーク

ＳＡＮＫＡＫＵの名称は学生、大学、企業の３者を結ぶことや、若者らがさまざまな活動に参画することに由来する。

ロゴマークは、船を操作するための舵輪（ハンドル）がモチーフ。内側にシンボルツリーを配し、丸や四角の図形で「ヒト・モノ・コト」が交わる様子を表現している。

運営する一般財団法人「Ａｍｂｉｔｉｏｕｓ ＮＩＩＧＡＴＡ（アンビシャス・ニイガタ）」のロゴが、船を表しているのに合わせた。訪れた人が自らハンドルを握り、希望する針路をとってほしいという願いを込めた。

企業と若者 成長の原動力

ナミックス社長 小田嶋壽信さん（56）

企業と若者の交流こそが地域を成長させる原動力になると考えている。歴史を顧みると、若者の発想力と行動力が、社会に変革をもたらしてきた。若者の考えを企業が柔軟に受け入れ、協業することで、よりよい社会がつくられていくだろう。

人材育成や産業、地域の振興に向け、人やモノが交わる場所にしたいという趣旨に賛同し、多くの企業がＳＡＮＫＡＫＵに協力することになった。ナミックスも寄付させていただいた。この拠点を活用し、産学官が一体となった地域づくりを実現していきたい。

県内で進学、就職の循環を

長岡大学長 村山光博さん（58）

県内には高度な技術を持ちながら、知名度が低く、採用に苦労している企業がある。ＳＡＮＫＡＫＵの取り組みは、学生が県内の素晴らしい企業を知るきっかけになるのではないか。その方向性は、県内企業に学生を送り出し、地域を盛り上げたいと考えている長岡大とも合致する。

学生には異分野を学ぶ人と交流し、視野と人脈を広げてほしい。新潟市中心部で学生が活動することで、長岡大に対する県内企業や高校生の認知度が高まることも期待している。県内での進学、就職という循環が生まれるといい。

新潟の魅力広く伝えたい

新潟大学生 江連鹿楽さん（19）

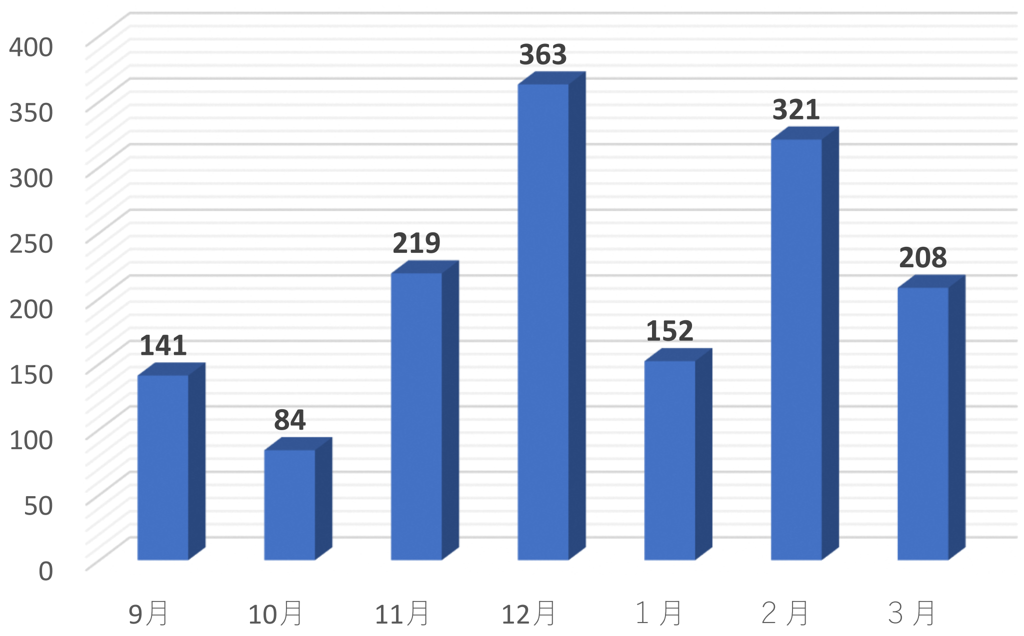
県内の13大学から１６０人以上が参加する学生コミュニティ「次世代ＢＡＳＥ」で、イベント企画を担当している。県内企業との交流会も開催しており、今後はＳＡＮＫＡＫＵでも学生が企業や地域とつながる活動に取り組みたい。

ここはＪＲ新潟駅近くにあるため、県内各地にある大学の学生も訪れやすい。個性的な学生が集まるのが楽しみだ。古町地区も近いので、みんなで歴史的な街並みを歩き、活性化のアイデアを募ることもできる。交流を通じて新潟の魅力をさらに知り、自分も広く伝えていきたい。

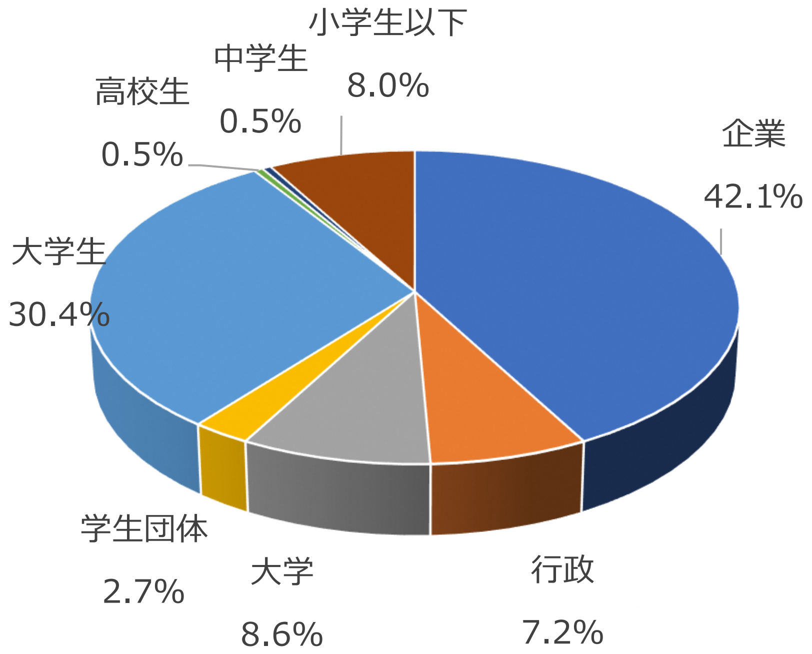
Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

団体利用者数　1488人

09.18-03.31



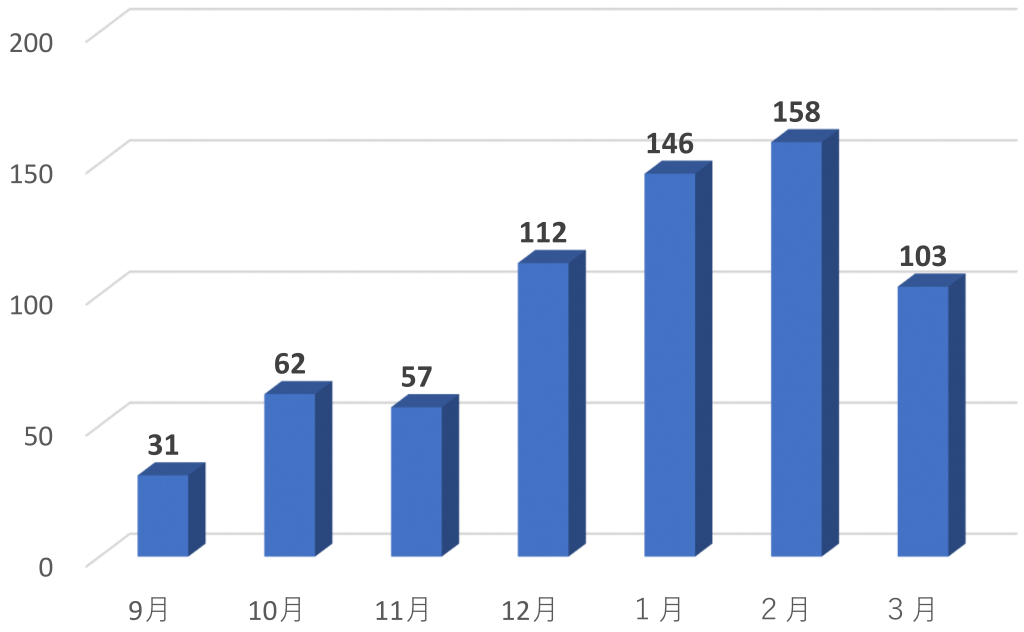
団体利用者属性



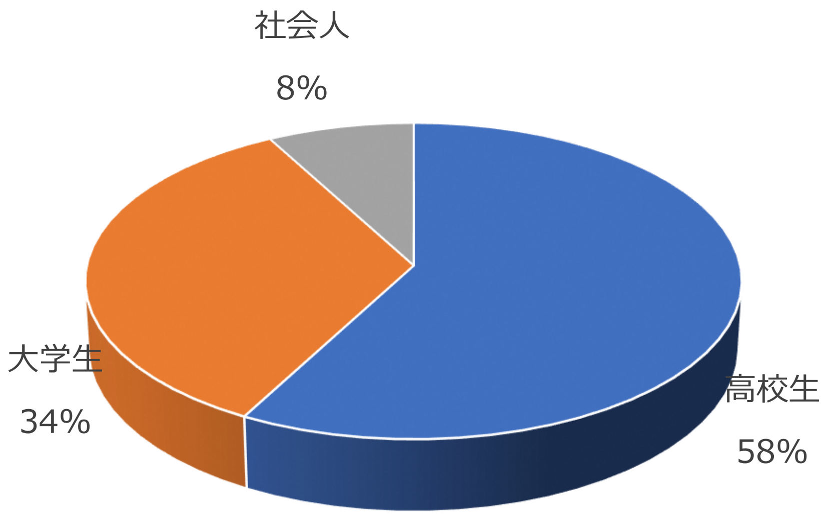
Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

個人利用者数 669人

09.18-03.31



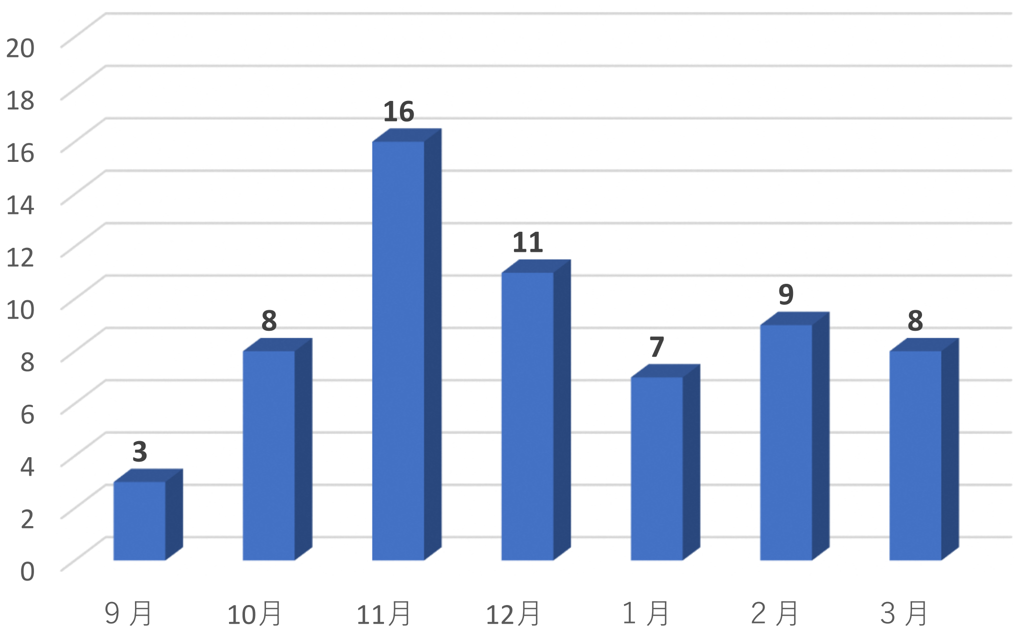
個人利用者属性



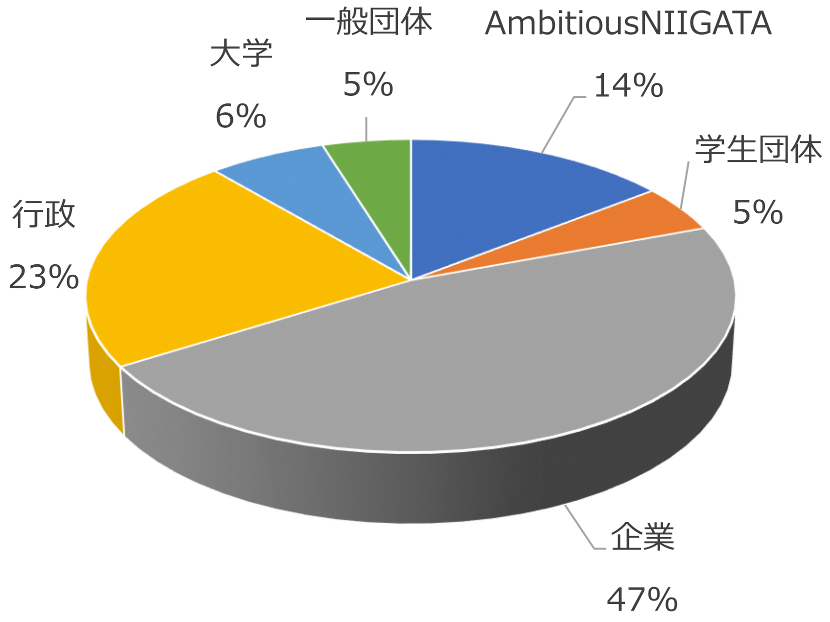
Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

イベント・会議開催数 62件

09.18-03.31



主催者属性



Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

132人

【2025年12月6日】
▼令和７年度 地域活動・学生発表交流会

大学生の18チームがエントリーし、地域課題を探索し、解決に向けて知恵を絞った活動成果を披露した。発表チームメンバーのほか、他大学の学生や教職員、自治体・企業関係者らも参加し、発表を通して交流を深めた。

（主催　新潟地域連携コミュニティ）

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

74+39人

【2025年９月18日】
▼SANKAKUオープニングイベント
▼企業×大学×学生共創PJ創出マッチングイベント

学生や社会人が交流しながら地域課題の解決などに向けて活動する拠点「SANKAKU」が開業。施設は計300平方メートルで大型スクリーンやフリーＷｉ－Ｆｉを備え、財団会員の大学の学生や企業の社員、県内の高校生が自由に使える。
（主催　Ambitious NIIGATA）

SANKAKU開業に合わせ県内企業の社員、大学の教職員、大学生ら三者がアセット、知見、アイデアを持ち寄り、新たビジネスや連携を目指す産官学マッチングイベントが始まった。計６回開催され、３月に発表会が開かれた。
（主催　新潟県総務部大学・私学振興課）

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

□学生×企業×大学　ステップアップフェーズ案

ユニット数

Meet Up! SANKAKU	Match Up! SANKAKU	Hands On! SANKAKU

ユニット人数

【Meet　Up】
▼2026年1月24日（土）
・学生、企業、大学３者の交流イベント
・３者のアセット共有
・３者の課題探索（リーン・スタートアップ）
・３者のHMV（How might we）

開催：年●回
主催：次世代BASE
共催：Ambitious NIIGATA

【経営者座談会】IRフォーラムスピンオフ
▼2026年●月●日（●）
・学生が経営者を囲んで座談会
開催：年●回
主催：次世代BASE・上場企業の会
共催：Ambitious NIIGATA

【学生だった若手経営者を囲む車座MTG】
▼2026年●月●日（●）
・●代までの経営者を囲む座談会
開催：年●回
主催：Ambitious NIIGATA
共催：次世代BASE

【行く道来た道 高校生と大学生の円卓会議】
▼2026年●月●日（●）
・人生の半歩前を進む先輩と本音トーク
開催：年●回
主催：NIIGATAマイプロジェクト☆LABO
共催：Ambitious NIIGATA

【100年続く新潟の農業をビジネスデザイン】
スマート農業・フードテック領域
▼2026年●月●日（●）
・学生、企業、大学の任意の組み合わせで実学・実働する
開催：年●回
主催：Ambitious NIIGATA・会員企業

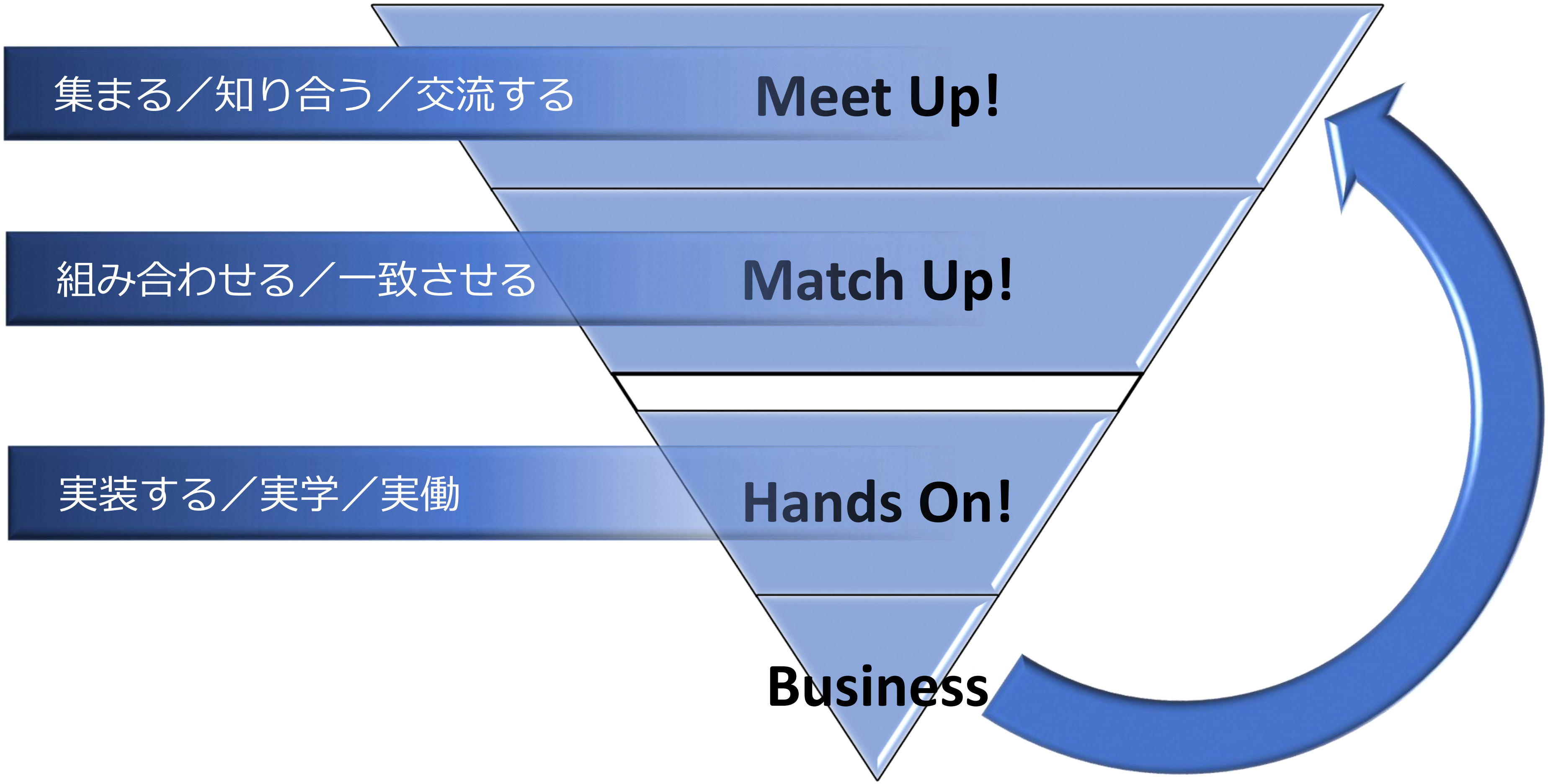
【外貨獲得へ湊町新潟をリ・デザイン】
観光まちづくり・中心市街地活性化領域
▼2026年●月●日（●）
・学生、企業、大学の任意の組み合わせで実学・実働する
開催：年●回
主催：Ambitious NIIGATA・会員企業

【オンデマンド交通】
【マーチャンダイジング】
【データドリブン・DX】
などユニット構成メンバーでテーマ設定

※ファシリテーター、コーディネーターは原則、財団理事や企業の開発担当者ら

Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.

□新潟の人材育成エコシステム



Copyright 2026 niigata-nippo, Inc. All Rights Reserverd.